

大学の世界展開力強化事業 取組概要 広島大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

国際大学間コンソーシアムINUを活用した、平和・環境分野における協働教育

【プログラムの目的・養成する人材像】

INU参加大学および広島大学が共有する目標である、地球市民としての自覚を有し、地球社会の一員として国や地域の持続的発展に資する人材を育成する。

【構想の概要】

国際的な大学間コンソーシアムであるINUを利用して、双方向の協働教育の枠組み(ダブルディグリー・プログラム、修士サマースクール、学生セミナー)を、平和分野、環境分野および融合分野で実施する。これにより、大学の教育、研究、社会連携分野での国際力の強化、Internationalization at Homeを図る。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 大学間コンソーシアムINUを利用した大学間交流

欧州、米国、アジア、オセアニアにまたがる国際的な大学間コンソーシアムであるINUの枠組みを利用して、本学の基本理念と密接な関連性を有する「平和」の分野、また、地球全体の問題と関連する「環境」分野とまた「看護」などの分野で、協働教育を行う。

○ 大学のトップ・マネージメントによる大学間交流

各種プログラム実施のため、各大学のトップマネージメントのリーダーシップのもと、「総会(年2回)」を開催することにより、緊密なPDCA体制を確立している。国際化は、「パートナーシップ」と「オーナーシップ」をどう調和させるかが鍵を握っているが、トップマネージメントが主導することにより、これらを融合させつつ発展させることを可能としている。

〈INU修士サマースクール〉



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈Study Abroad〉



○ 学生の語学能力、目的、履修期間などに応じた大学間交流

実施形態としては、学生の属性に応じて開発された短期・長期の派遣・受入を伴う以下のような複数のプログラムを組み合わせで行う。

- ・本学学生を海外派遣することにより国際的能力を取得した人材を育成
- ・海外大学学生の広島大学への留学による日本人学生との協働人材育成
- ・Internationalization at Home

○ 新規プログラムの実施

オーストラリアの大学とダブルディグリープログラムの締結をしており、本年度から派遣・受入を実施する。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

ダブルディグリー・プログラム、欧米における短期集中講義を継続して行うとともに、本構想により学生支援を行い、日本人学生を、中・長期のプログラムを中心に海外に派遣する。

○ 外国人留学生の受入れ

毎年8月に開催する学生セミナー、サマースクールに学生を受け入れるとともに、新たなサマースクール、ダブルディグリー・プログラムを実施する。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	3人	143人(78人)	157人(85人)	27人	27人
学生の受入	0人	61人(32人)	71人(33人)	66人	66人

注)H23~H25は実績、H26以降は計画
()は補助金支給対象外の学生数で内数

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 留学支援体制の整備

留学支援のための相談窓口の開設、アドバイザーの配備などとともに、留学生在が求める学習機会の整備(教材開発等)、また企業等における留学生のインターンシップ受入れの促進のための枠組みづくりを行う。

○ 学習支援体制の整備

長期間留学する学生については、双方の大学における学習過程や学習成果を双方の大学の指導教員により確認することのできるeポートフォリオも活用することにより、継続的に学習支援を行う。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ ホームページの作成

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/sekaiinu/>

○ Internationalization at Home

プログラム実施を通じて「学生」、「教員」、「職員」、「マネージメント」が共に「国際化」を実現するため、学生を派遣しまた受け入れるとともに、留学を全く経験しない広島大学学生に対して新たな知見、経験を与えるInternationalization at Homeを進める。